

第97期 第2四半期 株主通信

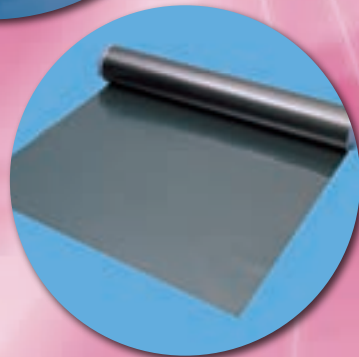
平成28年1月1日から平成28年6月30日



真心を包み、幸せを守り、技術を進化させる

大倉工業株式会社

証券コード 4221





代表取締役社長
高濱 和則

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

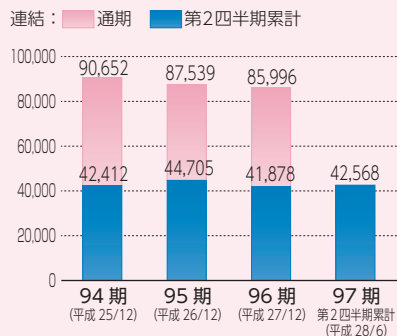
「第2四半期株主通信」を皆様にお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の減速懸念に加えて、英国の欧州連合離脱決定以降、一層進んだ急激な円高・株安の影響が加わり、企業収益に陰りが見られ始めるとともに個人消費も力強さを欠くなど、景気は先行き不透明な状況となってまいりました。

このような状況のもと、当社グループでは、地道な販売活動に努めた結果、当第2四半期連結累

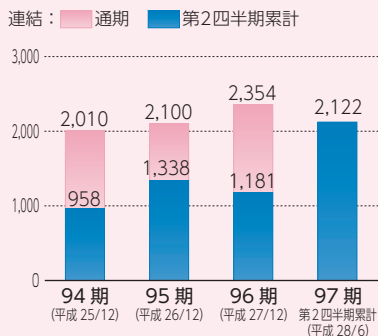
売上高の推移

(単位:百万円)



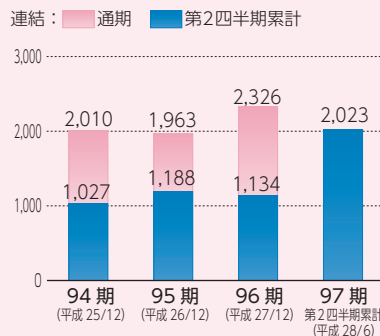
営業利益の推移

(単位:百万円)



経常利益の推移

(単位:百万円)



計期間の売上高は425億6千8百万円と前年同四半期比1.6%の増収となりました。

利益面では、合成樹脂事業における原材料価格低下の影響等により、営業利益は21億2千2百万円（前年同四半期比79.6%増）、経常利益は20億2千3百万円（前年同四半期比78.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億2千2百万円（前年同四半期比89.0%増）となりました。

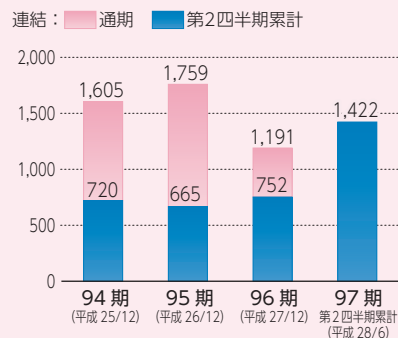
さて、当社グループでは、平成28年度を初年度とする平成30年までの第五次中期計画をスタートさせました。そこでは、今後も「社会から信頼される企業」で

あり続けるとともに、成長分野にソリューションを提供できる「技術優位な企業集団」を目指しており、具体的には不採算製品の整理と得意分野の拡大、事業組織を再編し、新分野・新ニーズ対応による事業規模拡大、新規事業の探索等の重点課題に取り組むこととしております。

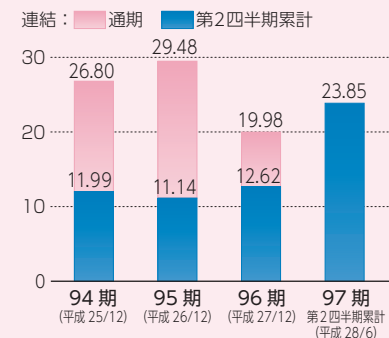
株主の皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年9月

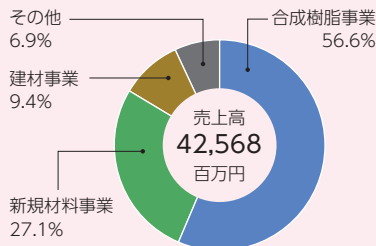
■ 親会社株主に帰属する純利益の推移 (単位:百万円)



■ 1株当たりの純利益の推移 (単位:円)



■ 事業別第2四半期累計売上高構成比(連結)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期累計期間事業別概況(連結)

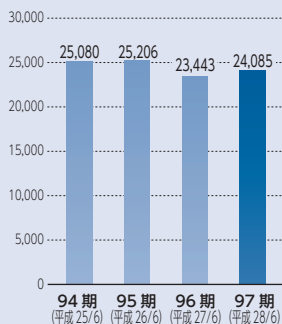
合成樹脂 事業



営業活動の強化によりシュリンクフィルムを中心に販売数量が前年同四半期比4.7%増加しました。しかしながら販売単価引き下げの影響により、売上高は240億8千5百万円(前年同四半期比2.7%増)にとどまりました。営業利益は、原材料価格が低下したうえにコスト削減にも努めた結果23億4千5百万円(前年同四半期比48.3%増)となりました。

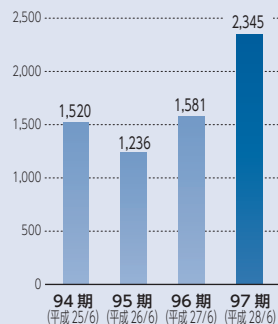
■ 売上高の推移

(単位:百万円)



■ 営業利益の推移

(単位:百万円)



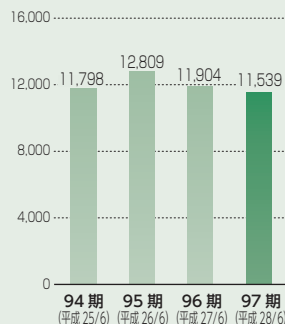
新規材料 事業



スマートフォン市場の成長が鈍化している影響により、売上高は115億3千9百万円(前年同四半期比3.1%減)となりました。一方、営業利益は生産効率の改善や固定費の削減により2億6千1百万円(前年同四半期比70.3%増)となりました。

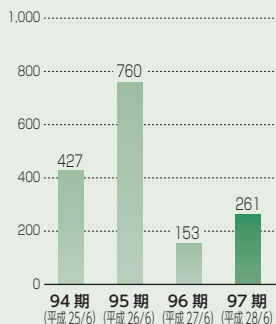
■ 売上高の推移

(単位:百万円)



■ 営業利益の推移

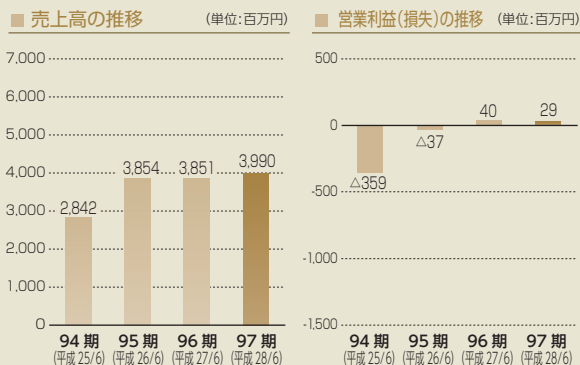
(単位:百万円)



建材事業



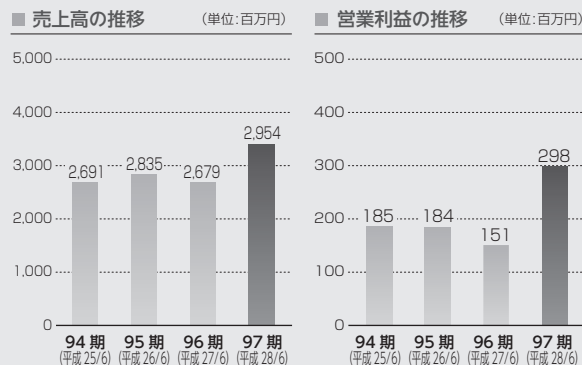
パーティクルボードがフロア関連向けに伸びたことにより、売上高は39億9千万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。営業利益は、生産工程の一部で不具合が発生した影響により2千9百万円(前年同四半期比25.5%減)となりました。



その他



木材加工(プレカット)事業並びに宅地造成及び建物建築事業を中心に売上が増加したため、売上高は29億5千4百万円(前年同四半期比10.3%増)となりました。営業利益は前年同四半期に多額の貸倒引当金を積み増した反動増もあり2億9千8百万円(前年同四半期比96.6%増)となりました。



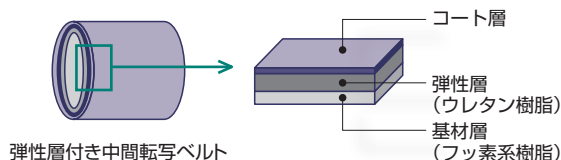
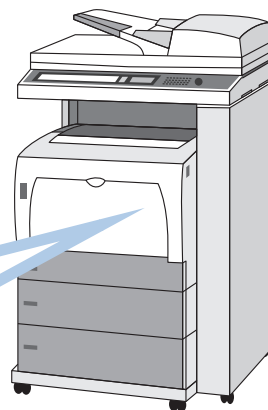
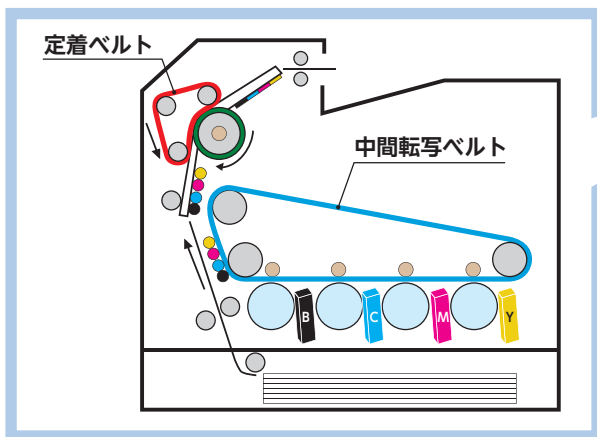
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社グループは様々な分野にソリューションを提供していますが、今回はプリンター用シームレスベルトと新しい規格袋をご紹介します。

シームレスベルト（弾性層付き中間転写ベルト）

複写機・プリンターのトナー転写に用いられる当社の「シームレスベルト」は、高い寸法精度と、均一な半導電の電気特性を有しており、カラープリンターの高画質、高速化に必要な不可欠な製品として、ユーザーの皆様から高い評価を得ています。

今回ご紹介する製品は半導電性の基材層・弾性層とコート層の3層構造の「弾性層付き中間転写ベルト」で、弾性層の付加には当社の共押出し加工技術が応用されています。当社の技術はトナーの転写性において高画質化(中抜け解消、細線転写)やエンボス紙等の多様な用紙対応性の点で優れています。



ストロング規格袋（フィルム厚さ18 μ m）

今まで築き上げてきた技術を更に向上、進化させたL-LDPE規格袋です。省資源で経済的な面に加えて、省スペースでの保管を可能にしました。当社は多様なニーズにお応えべくこれからもL-LDPE規格袋の新たな可能性を模索していきます。



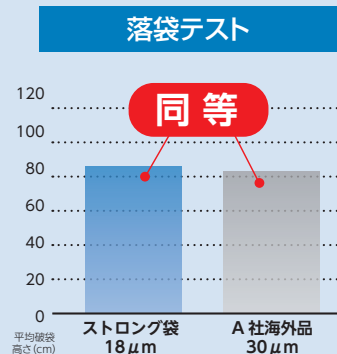
1 薄くても丈夫!!

自社試験法（落袋テスト）

試料：12号袋（230mm×340mm）

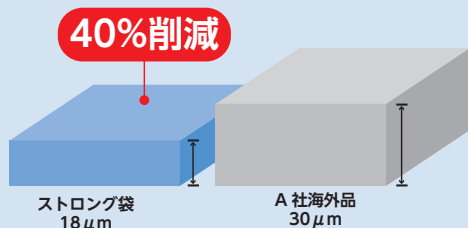


- ①袋に1.5Lの水を入れ、開口部を熱シールする。
- ②底シールを下に向けて、10cmの高さから垂直落下させ、破れるまで高さを10cmづつ上げていく。
- ③各10点ずつの測定を行い、破れたところの高さからの平均値。



2 省資源・省スペース

省スペースでの保管を可能にしました。



第2四半期連結財務諸表

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■連結貸借対照表の要旨

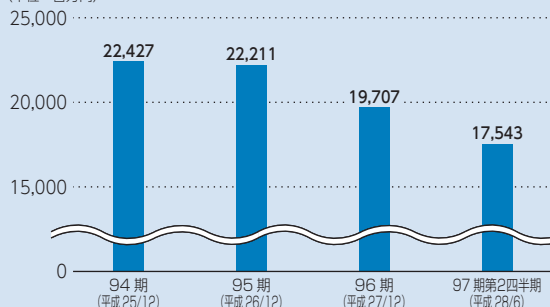
(単位：百万円)

科 目	96期末 平成27年12月31日現在	97期第2四半期末 平成28年6月30日現在
資産の部		
流動資産	44,120	41,520
現金及び預金	7,385	7,063
受取手形及び売掛金	25,534	23,466
電子記録債権	1,633	1,770
商品及び製品	4,691	4,257
仕掛品	964	951
原材料及び貯蔵品	3,052	3,123
繰延税金資産	145	243
その他	714	644
固定資産	43,680	40,572
有形固定資産	33,987	32,396
建物及び構築物(純額)	18,056	17,508
機械装置及び運搬具(純額)	8,435	7,634
土地	6,489	6,489
建設仮勘定	583	366
その他(純額)	421	397
無形固定資産	355	288
投資その他の資産	9,338	7,887
投資有価証券	8,624	6,681
繰延税金資産	83	580
その他	630	624
資産合計	87,801	82,092

科 目	96期末 平成27年12月31日現在	97期第2四半期末 平成28年6月30日現在
負債の部		
流動負債	37,381	32,022
支払手形及び買掛金	17,808	15,328
短期借入金	9,377	7,432
1年内返済予定の長期借入金	3,036	2,981
未払法人税等	602	519
その他	6,556	5,760
固定負債	11,679	11,753
長期借入金	6,704	6,914
繰延税金負債	140	18
退職給付に係る負債	3,755	3,802
その他	1,079	1,017
負債合計	49,061	43,776
純資産の部		
株主資本	35,988	36,961
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	19,133	20,108
自己株式	△833	△835
その他の包括利益累計額	2,742	1,348
非支配株主持分	8	6
純資産合計	38,739	38,316
負債純資産合計	87,801	82,092

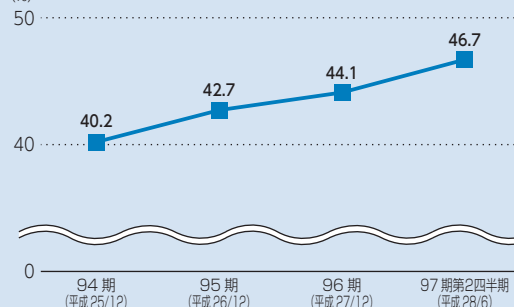
有利子負債の推移

(単位：百万円)



自己資本比率の推移

(%)



■ 連結損益計算書の要旨

(単位: 百万円)

科 目	96期第2四半期(累計) 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	97期第2四半期(累計) 平成28年1月1日から 平成28年6月30日まで
売上高	41,878	42,568
売上原価	36,300	35,938
売上総利益	5,578	6,630
販売費及び一般管理費	4,396	4,507
営業利益	1,181	2,122
営業外収益	173	151
受取利息・配当金	72	73
為替差益	31	—
その他	70	78
営業外費用	221	251
支払利息	136	104
為替差損	—	113
その他	84	33
経常利益	1,134	2,023
特別利益	22	—
固定資産売却益	22	—
特別損失	60	175
固定資産除売却損	57	166
その他	3	8
税金等調整前四半期純利益	1,096	1,847
法人税、住民税及び事業税	300	559
法人税等調整額	43	△133
法人税等合計	343	426
四半期純利益	752	1,421
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	752	1,422

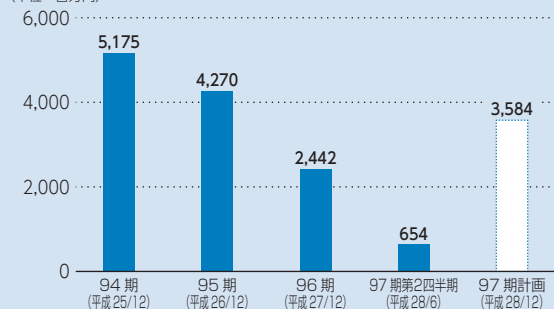
■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位: 百万円)

科 目	96期第2四半期(累計) 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	97期第2四半期(累計) 平成28年1月1日から 平成28年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,331	3,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,532	△914
財務活動によるキャッシュ・フロー	△375	△2,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△76
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	426	△321
現金及び現金同等物の期首残高	6,739	7,385
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,166	7,063

設備投資(工事ベース)の推移

(単位: 百万円)



(注) キャッシュ・フロー計算書は支払ベースで記載するのに対し、本グラフは工事ベースで表示しております。

■ 連結子会社が合併

当社の連結子会社である株式会社オークラプロダクツ香川（存続会社）が、同連結子会社の株式会社OKプロダクツ岡山（消滅会社）を吸収合併し、新商号を株式会社オークラプロダクツとして平成28年7月1日に発足しました。新会社の資本金は50百万円、平成28年12月期の売上高は5,000百万円を見込んでおります。

これまで、株式会社オークラプロダクツ香川は、食品・生活関連商品の包装用フィルムや全国の自治体向けごみ袋などの製造と

加工請負業を展開しており、一方株式会社OKプロダクツ岡山は、ポリオレフィン等衛生協議会の自主基準に適合した規格袋の製造が中心で製品品質の安心・安全を強みとしてきました。両社の規模が他の子会社に比べると小さいため、統合による体制強化を目的に、両社の製造製品の整備・集約や管理業務の統合を行っております。今まで以上に地域で信頼される魅力的な事業会社に成長すべく、もの作りを通じて更に社会に貢献してまいりたいと考えております。

【新会社の概要】

商号	株式会社オークラプロダクツ
事業内容	ポリエチレン製品の製造及び販売
設立年月日	平成2年9月17日
本店所在地	香川県仲多度郡まんのう町佐文773番地6
代表者	代表取締役 宮崎 章
資本金	50百万円
総資産	3,448百万円
決算期	12月31日
大株主および持株比率	大倉工業株式会社100%
従業員数	237名

※ 総資産は平成27 年12 月期の2社合計

■ 会社概要 (平成28年6月30日現在)

社 名 大倉工業株式会社
設 立 昭和22年7月11日
資 本 金 8,619,616,071円

業 務 内 容

- 各種ポリエチレン製品及びポリプロピレン製品の製造販売
- 光学機能性フィルム等の製造販売
- パーティクルボード及び加工ボード等、加工合板の製造販売

■ 役 員 (平成28年6月30日現在)

代表取締役社長 高 濱 和 則
代表取締役常務取締役 豊 田 員 史
常務取締役 神 田 進
取締役 田 中 祥 友
取締役 山 田 和 裕
取締役 上 原 英 幹
※取締役 行 天 武
※社外取締役 馬 場 俊 夫
※社外取締役 北 田 隆
※社外取締役 藤 岡 聡

※監査等委員

■ 株主の状況 (平成28年6月30日現在)

発行可能株式総数 140,108,000株
発行済株式の総数 62,074,351株
株主数 6,224名

■ 大株主(上位10位) (平成28年6月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友化学株式会社	4,818	8.08
株式会社中国銀行	2,911	4.88
オクラ共栄会	2,500	4.19
株式会社百十四銀行	1,920	3.22
日本生命保険相互会社	1,875	3.15
住友林業株式会社	1,579	2.65
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,561	2.62
大倉工業従業員持株会	1,371	2.30
三井住友海上 火災保険株式会社	1,358	2.28
JSR株式会社	1,317	2.21

(注) 当社は自己株式2,444,870株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。また持株比率は自己株式を控除して計算しております。

決 算 期	毎年12月31日
定 時 株 主 総 会	毎年3月
株 主 確 定 基 準 日	定時株主総会 12月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。) 剰余金の配当 期末配当 12月31日 中間配当を行う場合 6月30日
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵 便 物 送 付 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公 告 の 方 法	電子公告とし、当社ホームページ(http://www.okr-ind.co.jp)に掲載いたします。ただし電子公告による ことができない事故やその他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所市場第1部

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。



<http://www.okr-ind.co.jp>

当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

